

第16代手稲警察署長として着任しました佐藤と申します。本年3月24日付けで着任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

自然豊かな、ここ手稲区で勤務できることに喜びを感じつつ、犯罪や事故のない、安全で安心な地域の実現に向け、署員一丸となって取り組む所存でありますので、前任の河野署長同様、引き続き、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

【今月のお願い】

1 自動車盗難の防止と防犯登録の推進

例年、雪解けを迎えるこの時期は、自転車を利用する機会が増えるとともに、自転車の盗難被害が増加します。

(1) 大切な自転車を盗難被害から守るために

自転車には、備え付け錠のほか、丈夫なU字型錠などで「ツーロック」をして盗難被害を防止しましょう。

(2) 万が一、被害に遭った時のために

ア 自動車の防犯登録をしましょう

イ 防犯登録をすると、防犯登録番号や車体番号から持ち主が分かるため、盗難被害に遭った場合でも、早期に被害回復がしやすくなります。

ウ 防犯登録の手続は、自転車の販売店で行っています。

(3) 盗難被害防止のポイント

ア わずかな時間の駐輪でもツーロックを心掛けましょう

イ 自宅や駐輪場でも油断することなくツーロックしましょう

ウ 防犯登録は忘れずに行いましょう

2 春のヒグマによる人身事故の防止

(1) ヒグマ出没情報の確認

ヒグマは、河川敷、緑地帯、公園などのほか、身近な場所に潜んでいる可能性がありますので、自治体のホームページや新聞、テレビなどで、ヒグマの出没情報を確認しましょう。

(2) 入山は複数で

山に入る際は、可能な限り複数で行動しましょう。また、熊除けの鈴や笛など、音が出るものを常に鳴らすとともに、万が一ヒグマが襲いかかってきた時に備え、熊撃退用スプレー持ち歩くようにしましょう。

(3) ふんや足跡を見つけた場合

ヒグマのふんや足跡、畑の農作物焼く先が食いちぎられた跡などを見つけた場合は、すぐに引き返して警察に通報しましょう。

(4) 食べ物は必ず持ち帰る

ヒグマは、いったん人間の食べ物の味を覚えると、それを目当てにゴミ捨て場などに繰り返し出没します。

生ゴミを山中に放置したり、その場で埋めて帰ったしないで必ず持ち帰るようにしましょう。

(5) ヒグマに遭遇した場合

もしも、ヒグマを見つけたら、ゆっくり後ずさりしながら静かにその場から離れて下さい。慌てて逃げたり騒いだりすると、ヒグマが興奮して襲いかかってくる可能性があります。

リュックなど、持ち物は回収しないで、背中を見せずにゆっくりと静かに立ち去りましょう。

3 山菜狩りによる遭難の防止

(1) 行き先や帰宅予定時間を家族等に伝える

行く先が分からないと、遭難した時に捜索範囲を絞れず、救助活動に時間がかかってしまいます。

(2) 山奥に入らない

山の中には多くの危険が潜んでいるので、たとえ慣れた山であったとしても油断は禁物です。

自分の体力や体調、天候や日没時間に合わせた行動をとるよう心がけましょう。

(3) 単独入山を避ける

万が一、山中で迷ったり、けがをした場合、一人では対処できないことがあるので、複数で行動しましょう。

(4) 目立つ色の服装を心掛ける

山中で遭難した場合、ヘリコプターが上空から捜索しますが、その際は、赤色や白色系の服装が目立ちます。

(5) 携帯電話やホイッスルを携帯する

携帯電話があれば、非常時に救助要請できますし、ホイッスルは体力の消耗を抑つつ周囲に自分の存在を知らせることができます。

令和7年4月

手稲警察署長

佐藤 厚